

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科	
科目名称 [英語名称]	教科教育法(図画工作) [Teaching Methodology for Art and Environment Studies]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750096	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	園田 博一			学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP2(2) DP3(2) DP3(4)		
授業概要	<p>本授業では、図画工作科の目標や内容構成を踏まえながら、児童の造形的な能力の発達に即した実践的な指導力を身につけていくことをねらいとする。大人のスキルとして制作実践から図画工作科で使用する基本的材料・用具の扱いの習熟をはかるとともに、年齢ごとの子どもの作品の鑑賞を通して、児童作品の見方や考え方を検討する。また教師個人の好みや、美的感覚を強制するような指導観・教材観ではなく、一人ひとりの表現の違いを認め、豊かな心で創作活動が展開できる指導法を考える。小学校の現場では指導が多くなると、指示待ちの生徒が増える傾向がある。指導が援助であることと子どもに考えさせることが創造の展開になる。子どもの視座で目線を共有する力として身に着ける学修を目指す。上手に描くという概念にはそれほどの共感を生み出せないが、感性の磨きと働きが心に訴える力を感じさせることを実習の学びと考えたい。</p>						
関連する科目	保育内容指導法(造形表現) 図画工作 図画工作演習						
授業の進め方と方法	<ul style="list-style-type: none"> ・図工の基礎実習を通して、表現する楽しさを体感する。 ・表現の基礎となる素描力を身につける。 ・子どもの表現を理解し、発達段階の理解につなげる。 ・図画工作科における多様な表現を体験し、表現の幅を広げる。 						
授業計画	<p>第1回:オリエンテーション お互いを知り合う 自己紹介 図画工作について振り返る 体験談を語る 第2回:学習指導要領と図画工作科の目標。児童期の造形表現について 第3回:図画工作科教育の内容と目標。絵画演習・基礎デッサンの理論学習 第4回:子どもの造形的表現能力の発達段階と造形的表現 第5回:造形表現の理論 幼児造形表現の発達と様式 第6回:造形表現の理論 造形遊びと図工表現の連続性 第7回:図画工作教育の内容と目標 学習指導要領 絵画演習① 第8回:図画工作教育の内容と目標 教科目標 絵画演習② 鑑賞学習① 第9回:図画工作教育の内容と目標 各学年目標 デザイン理論と演習 第10回:図画工作教育の内容と目標 共通事項 工作演習① 第11回:図画工作教育の内容と目標 各学年の内容構成 工作演習② 鑑賞学習② 第12回:図画工作科の学習指導の形態と指導過程、教材、用具について 第13回:図画工作科の学習指導の形態と指導過程、素材の教材的分類 第14回:図画工作科における評価 評価の意義、評価活動の要点 第15回:図画工作の学習指導案の作成 課題のまとめ</p>						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・図工の基礎実習を通して、表現する楽しさを体感する。 ・表現の基礎となる素描力を身につける。 ・子どもの表現を理解し、発達段階の理解につなげる。 ・図画工作科における多様な表現を体験し、表現の幅を広げる。 						
授業時間外の学修	<p>学外の情報を積極的に取り込み、美術館などの施設に出かけて本物を見ることを実践してほしい。TVやSNSなど様々な情報媒体からえられる情報の収集も重要である。</p>						
課題に対するフィードバック	造形表現と図画工作との関連の理解を深め要約のレポートを評価する。図画工作教育の方法や小学校指導要領について必須要点をまとめレポートする。実技実習は到達度レベルを示し素描を評価する。			評価方法	授業中の参加意欲・態度と提出課題で採点による。(配点割合:発問等20%、実習課題40%、レポート課題40%)		
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 図画工作編 :文部科学省 日本文教出版発行 100円 『小学校 図画工作科教育法』山口善雄、佐藤昌彦、奥村高明編著 建帛社 2400円 						
参考書	<ul style="list-style-type: none"> 『いっしょに考えよう 図工のABC』 日本文教出版 『図工・美術がもっと好きになる 造形のABC』 日本文教出版 『学びとしての図画工作 題材のABC』 日本文教出版 						
備考	※受講生は、実技演習ができる服装が望ましい。(準備内容については、事前に予告する。)						